



今話題の「伊達武将隊」も応援に駆けつけました

登米市の郷土料理として親しまれている「はっと」をより多くの人に知ってもらおうと、第7回日本一はっとフェスティバル(同実行委員会主催)が12月5日、中江中央公園で開催され、家族連れなど約2万3千人がはっとを堪能しようとして訪れました。

や「油麩入りはっと」などの定番のはっとに加え、「牛すきはっと」や「えび天はっと」など、味や食材に工夫を凝らしたはっとが数多く販売され、訪れた人たちはお目当てのテントに並び熱々のはっとを楽しみました。

投票の結果、今年のはっと大賞には、(有)伊豆沼農産(迫)の「赤豚のカレーはっと」、準大賞には農家レストランはっと亭(石越)の「あずきはっと」、第3位にはラーメン厨房丈や(迫)の「しお野菜はっと」がそれぞれ選ばれました。

大賞に赤豚のカレーはっと 第7回日本一はっとフェスティバル



さまざまな種類を食べ比べ、はっとを堪能しました



家族連れなど、大勢の来場者でにぎわう会場



日本語教室の皆さんによる見事な踊り

「2010登米市国際まつり」が12月12日、迫公民館で開催され、たくさんの人でにぎわいました。

国境を越えて 友好を深める

2010登米市国際まつり



各国のさまざまな料理が集まりにぎわうテーブル

在任の外国人の皆さんと信頼関係や国際理解を深め、友好の輪を広げようと企画されたものです。

当日は、参加者が料理を一品ずつ持ち寄るポットラック形式で行われたほか、日本語講座の皆さんが母国の料理を作り振る舞いました。

楽しい音楽の ひとときを はさま吹奏楽団定期演奏会 「まちの音楽会」



世代を超えて、子どもたちと一緒に音楽を奏でました

市内在住の社会人を中心に活動している吹奏楽バンド「はさま吹奏楽団」(団長及川昭宏)主催の「第25回定期演奏会」が12月5日、登米祝祭劇場で開催されました。

はさま吹奏楽団は、いろいろな団体との合同演奏など、積極的な音楽活動を続けています。平成18年から地元、小中高生の吹奏楽経験者を広く募集し、毎年定期演奏会を行っています。

今年で25回目となった演奏会は3部構成で行われ、第一部では「ザ・バンドワゴン」、「ハナミズキ」などの楽曲が披露されました。続く第二部では、市内の小・中学生たちが中心になり、AKB48の「ポニーテールとシュシュ」、新世紀エヴァンゲリオンなどの「残酷な天使のテーゼ」などのヒット曲、第三部では、名誉指揮者の保科雅己さんの指揮のもと「クリスマスフェスティバル」などの演奏が行われ、日ごろの練習の成果を発表しました。

日々鍛錬した健脚を競い合う 第25回カッパハーフマラソン



市長の号砲で、登録者・一般ハーフの部がスタート

第25回カッパハーフマラソン(同実行委員会主催)が11月28日、登米、中田両地区にわたる「カッパハーフマラソン公認コース」で開催されました。

大会当日は、午前9時30分に市長の号砲とともに登録者・一般のハーフ(21・0975km)がスタート。参加した皆さんは、それぞれ自己ベストタイムの更新を目指したり、完走を目的に景色を楽しんだりしながらゴールを目指しました。

開会式では市長が「このカッパハーフマラソンは年々参加者が増えていきます。『みやぎの明治村』と呼ばれる登米地区の景色を楽しみながら最後まで頑張ってください」と参加者を激励しました。



渾身の力を振りしぼり、激しいデッドヒート



多くのボランティアの皆さんが受付などを協力